

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

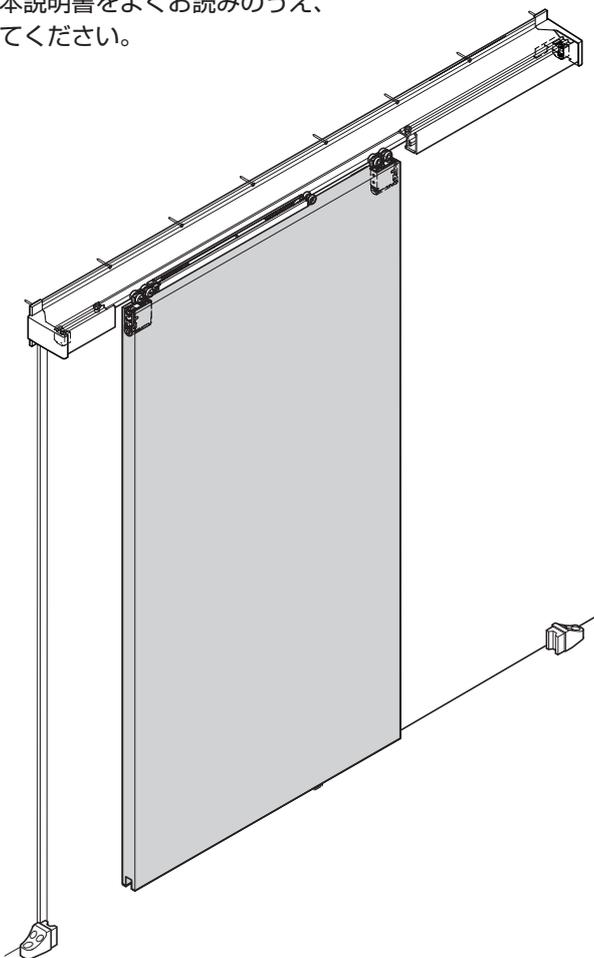
- 後付けできるかぶせ仕様の屋内用引戸金物です。
- 扉を開閉する双方向にクローザーが働き、それぞれの方向にゆっくりと静かに引き込みます。
- 工具を使わずに扉をワンアクションで吊り込めます。

仕様

扉幅	464 ~ 1000 mm 以下
扉高さ	2400 mm 以下
扉厚	30 ~ 36 mm 以上
扉質量 (1 枚当り)	25 kg 以下※ ¹
扉上下調整範囲	± 3 mm
扉前後調整範囲	± 2 mm

- ・ 使用場所の室温、操作方法および取付状態などにより、ソフトクローズ機構による扉の閉じ速度は変わります。
- ・ 使用推奨温度範囲は 5℃ ~ 40℃ です。

※¹ 軽い扉で使用した場合、扉を開ける際の抵抗が大きく感じられることがあります。



正しく安全に施工していただくために

- ⚠ 警告・注意 ⚡ 禁止 ⚠ 厳守

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。



- ・ 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ・ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉が脱落してけがをするおそれがあります。



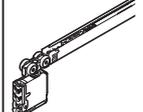
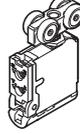
- ・ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ・ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

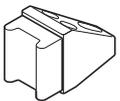
注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

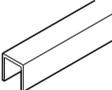


- ・ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ・ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。
- ・ 切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ・ 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ・ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください (お使い始めから 1 ヶ月後と 6 ヶ月後、その後は 1 年ごとを目安にしてください)。
- ・ 取付作業は 2 人で行ってください (1 人の場合、部材を損傷してしまうおそれがあります)。

部品一覧

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
品名	アウトセット 上レール	アウトセット用トリガー (六角ナット M4 付)	サイドカバー	ストッパー プレート	ストッパープレート 固定ねじ	デュアルソフトローラー	上ローラー (掘込用)	バンパー ブロック
品番	FD30-TRA	FD25SP-TRGA	FD30-HASC			FD25SP-WRH-DSC	FD25SP-WRH-N	FD30-HBB
部品	2100/2730mm 穴ピッチ: 300mm ピッチエンド: 10mm  付属: 十字穴付皿タッピンねじ 4×40				 十字穴付皿Sタイトねじ 4×25 (頭径φ6)	 付属: 十字穴付なベタッピンねじ 3.5×30……3ヶ	 付属: 十字穴付なベタッピンねじ 3.5×30……3ヶ	
片引き戸	 1本	2本/セット	左右各1ヶ	2ヶ	4ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ

No.	⑨	⑩
品名	下ガイド (ローラー付)	戸当り (床付用)
品番	FD30-HBG	FD30-HTKY
部品	 付属: 十字穴付皿タッピンねじ 3.5×30……4ヶ	 付属: 十字穴付バインド タッピンねじ 4×30……3ヶ
片引き戸	 1ヶ	2ヶ

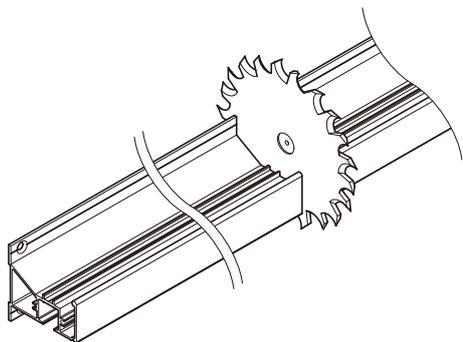
オプション	No.	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
	品名	上ローラー用 化粧キャップ	戸当り金具	壁付用ガイド ローラー付	下ガイド (片引用)	扉下側埋込み ガイドレール
	品番	FD25SP-WRH-CP	FD30-HTK	FD30-HBGK	FD30-HGS	FD30-HBRT
部品		 付属: 十字穴付バインド タッピンねじ 3.5×25……3ヶ	 付属: 十字穴付皿タッピンねじ 3.5×30……3ヶ	 付属: 十字穴付なベタッピンねじ 3.5×30……1ヶ 十字穴付皿タッピンねじ 3.5×30……1ヶ		

付属品	⑯
	スパナ
	FD25SP-SP
部品	

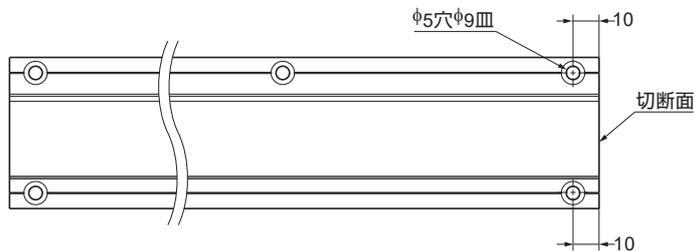
1 取り付け前の準備、取り付け

1. 上レールの切断

納まり寸法より必要な長さに切断してください。

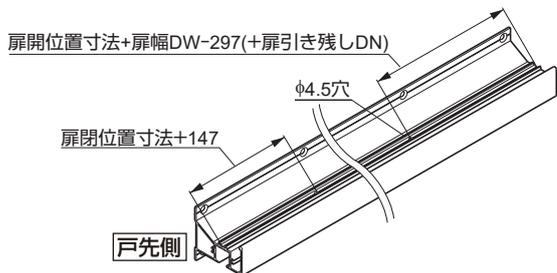
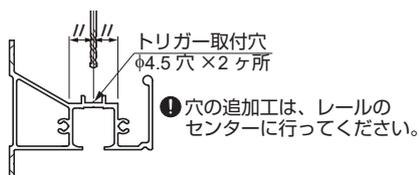


2. 取付穴の加工

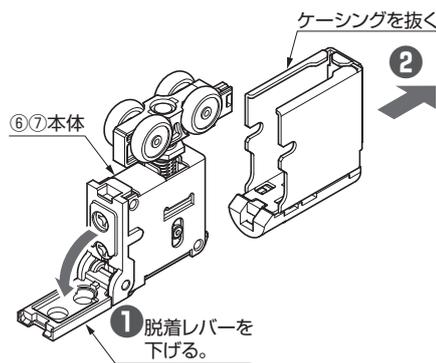


3. トリガー取付穴の加工

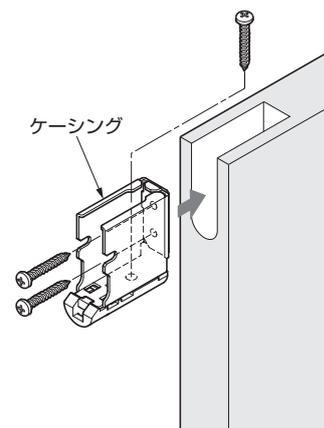
納まり寸法より、扉の開閉位置、開位置のレール端面からの寸法を確認し、穴をあけてください。



4. 部品の組み込み準備



5. ケーシングの取り付け

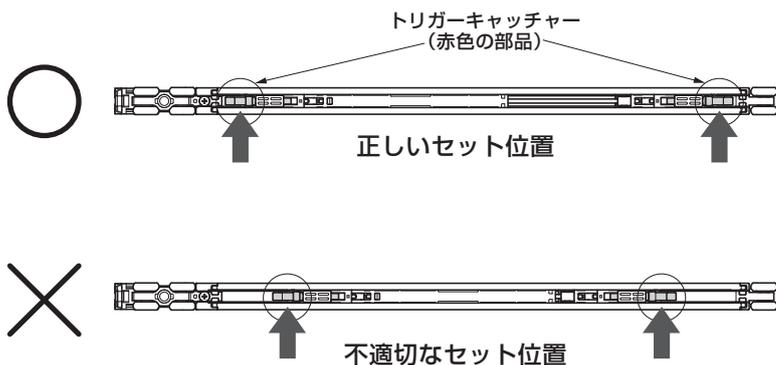


⚠ トリガー取付用の穴加工はレールの向き (戸先側、戸尻側) に注意すること。

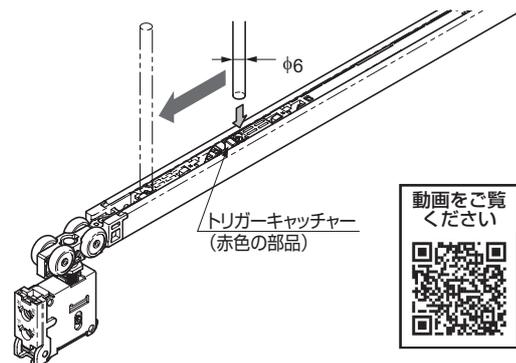
6. デュアルソフトクローザーを取り付ける前の確認

⚠ 注意

❗ 確認しないで取付けた場合、扉が引き込まれない故障の原因になります。

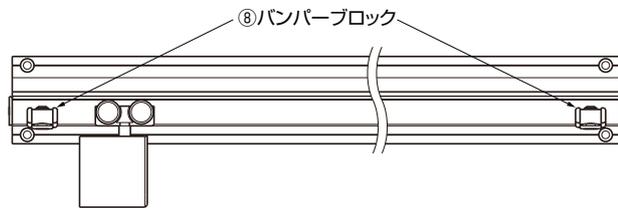
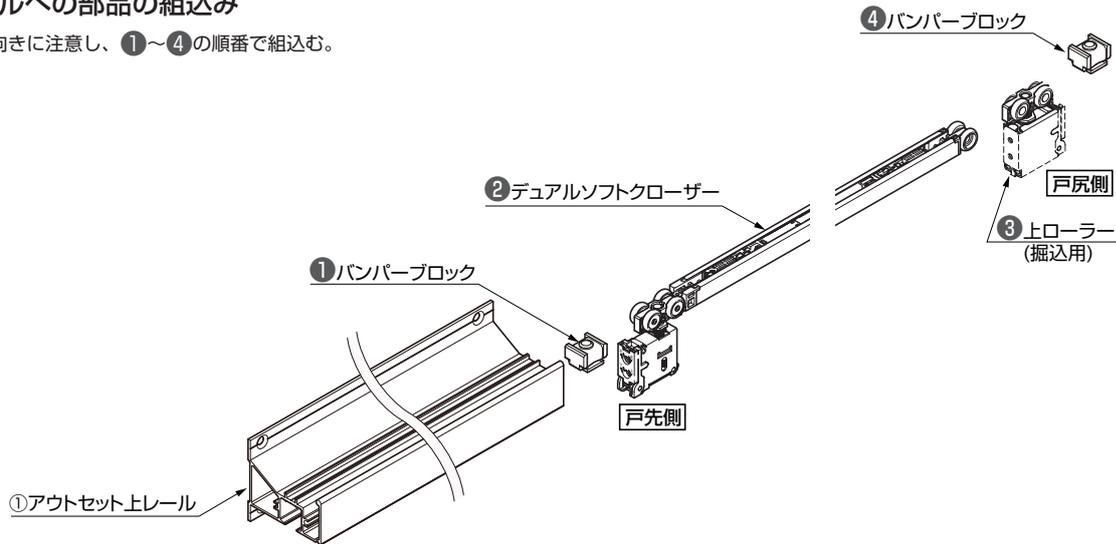


位置が正しくない場合、φ6の硬い丸棒等でトリガーキャッチャーを引っ掛けて正しいセット位置に戻す。



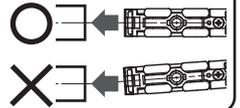
7. 上レールへの部品の組み込み

各部品の向きに注意し、①～④の順番で組み込む。



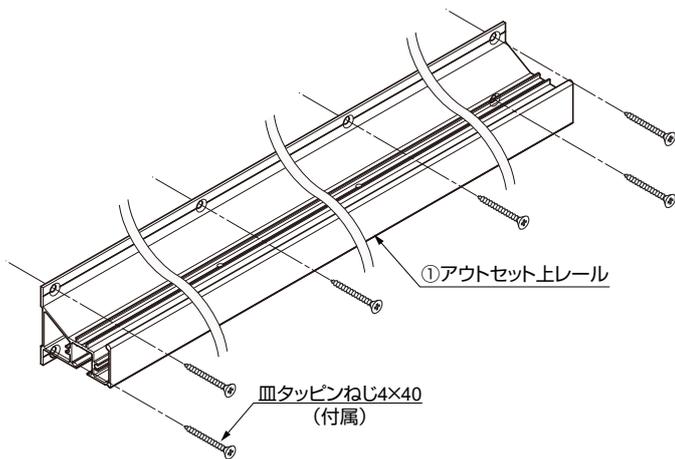
⚠ 注意

- ❗ 上レール内のゴミやアルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。
- ❗ バンパーブロックは、レール戸先側端面に寄せて1ヶ、レール戸尻側端面にもう1ヶを寄せて仮止めし、部品がレールから抜け落ちないようにしてください。
- ❗ クローザーは上レールにまっすぐ組込んでください。クローザーが変形し、正常に動作しなくなります。

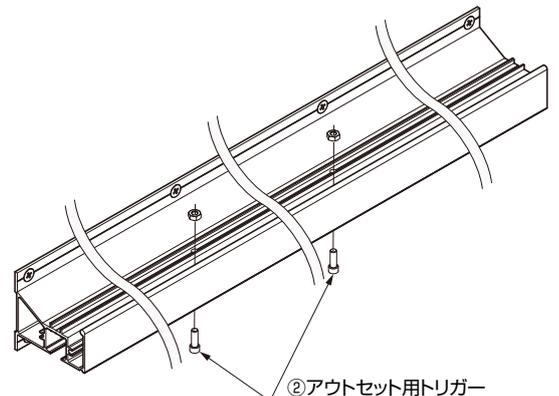
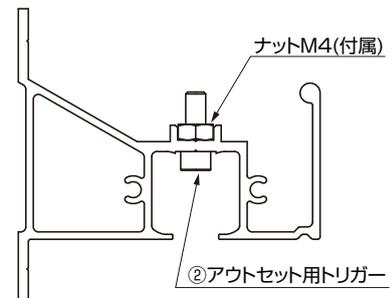


8. 上レールの取り付け

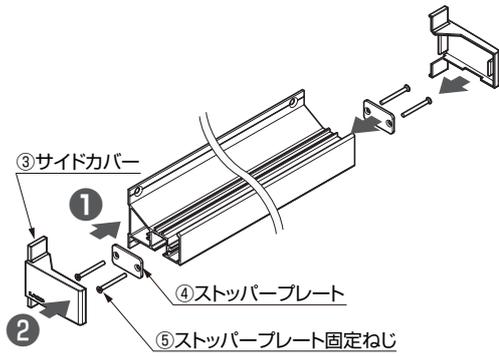
⚠ 上レールは必ず水平であることを確認のうえ取り付けてください。



9. トリガーの取り付け

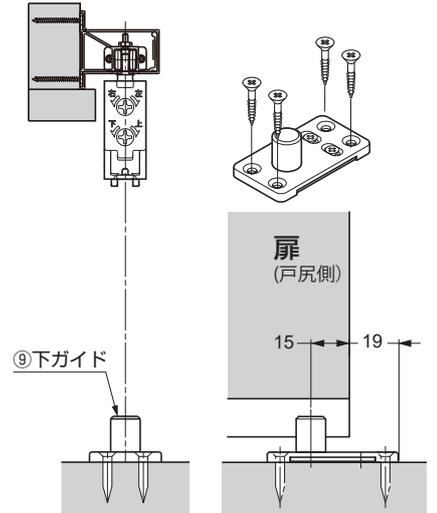


10. サイドカバーの取り付け



11. 下ガイドの取り付け

上レール中心から鉛直に下ろした位置に、下ガイドの中心を合わせてください。
扉を閉じた状態で、下ガイドの凸部が図の位置となるよう調整し、取付ねじで取り付けてください。

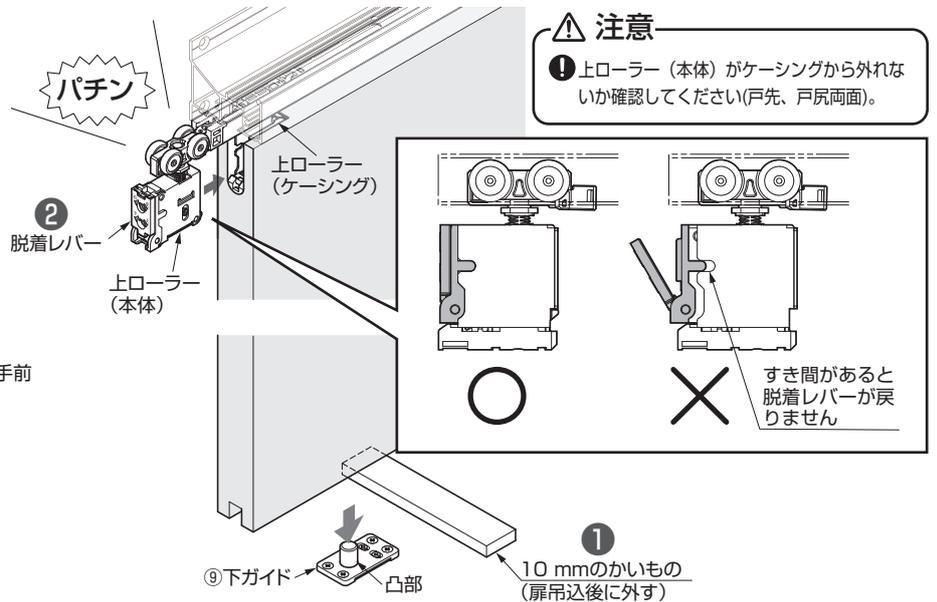


2 扉の吊り込み、調整

1. 扉を吊り込む

- ① 扉の下に10 mmのかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。
- ② 上ローラーを、クリック音がするまで差し込む。
- ③ 動作確認
扉を戸先側にゆっくり動かし、クローザーがトリガーに当たり、扉を引き込むことを確認する。

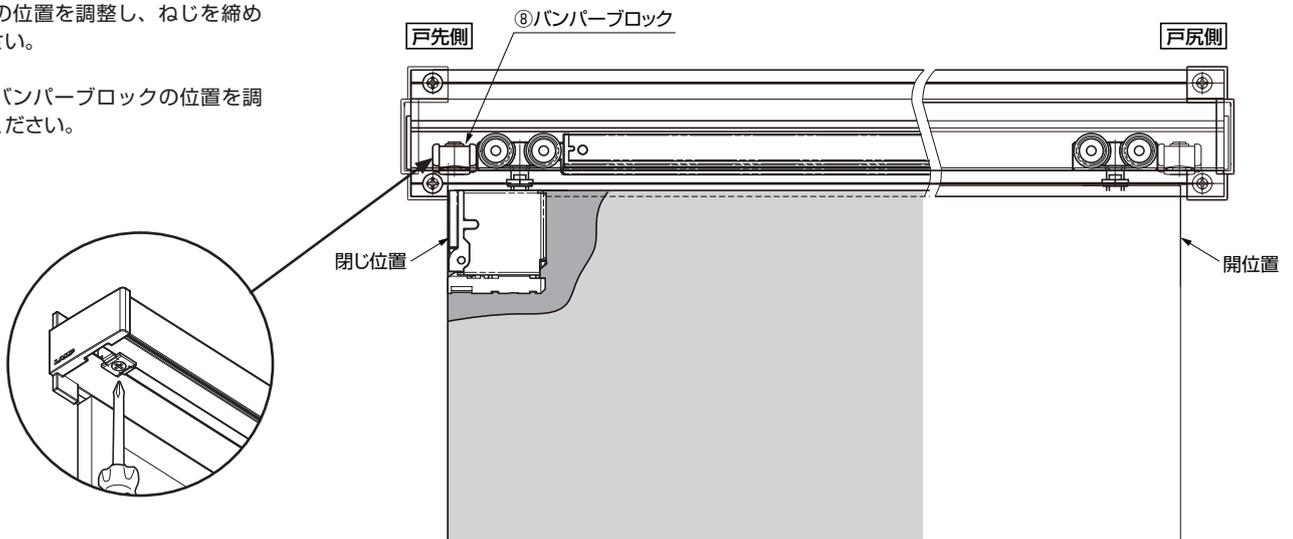
作動開始位置：戸先側、戸尻側とも停止位置の約60 mm手前



2. バンパーブロックの位置固定

戸先側において、扉の閉じ位置が納まり寸法上の正しい位置になるように、レール内のバンパーブロックの位置を調整し、ねじを締めて固定してください。

戸尻側も同様にバンパーブロックの位置を調整して固定してください。

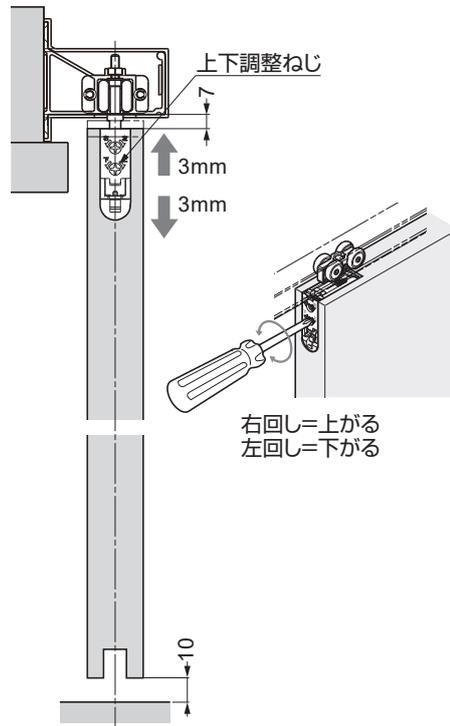


3. 扉の調整

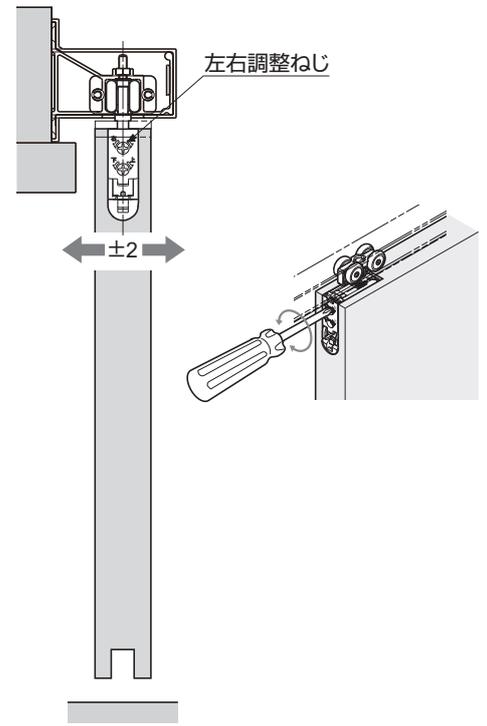
扉が上レールと平行で床面とのすき間が 10mm になるように調整してください。

⚠ 調整ねじは、調整範囲以上に回さないでください。破損の原因となります。

扉の上下調整代 6mm



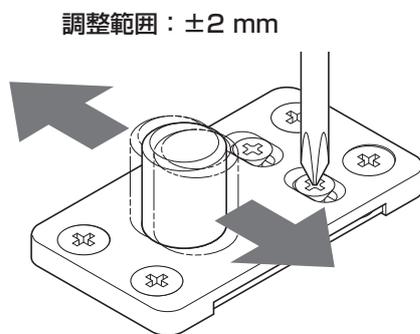
扉の前後調整± 2mm



4. 下ガイドの調整

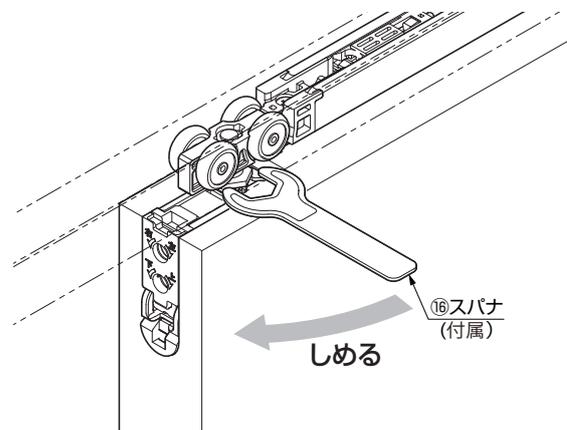
調整代± 2mm

扉をゆっくり開閉してください。扉の動きに引っ掛かり感があれば、下ガイドと扉の左右調整をしてください。



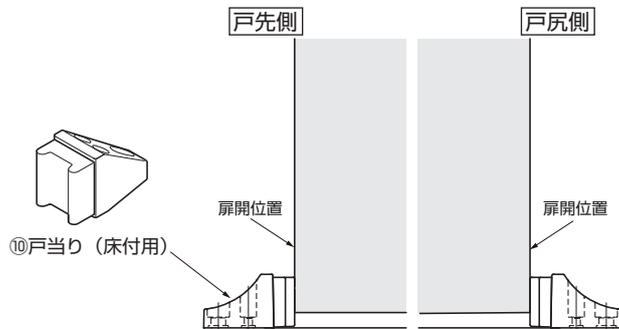
5. 跳ね上がり防止ナットの固定

クローザーと上ローラーの跳ね上がり防止ナットを本体に接触するまで付属のスパナで締め付けてください。



6. 戸当り（床付用）の取り付け

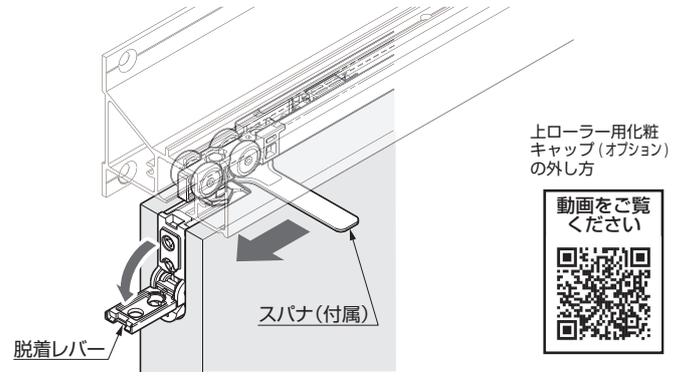
戸先側の開閉位置、戸尻側の開閉位置にて、戸当り（床付用）を、付属の十字穴付バインドタッピンねじ 4 × 30 3本で固定してください。



扉を取り外す場合

- ・扉の下に 10mm のかいものをはさんでください。
- ・上ローラー（本体）のレバー部分を下げたまま、上ローラー（本体）をケーシングから引き抜いてください。
- ・脱着しづらい場合には、跳ね上がり防止ナットをゆるめてください。

⚠ 扉が倒れないように注意してください。



取り付け後の確認 | ねじの締め忘れ、取り付け忘れのないことを確認してください。

定期点検

- ・レール内の掃除をおこなってください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をおこなってください。

■困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
ソフトクロー징の途中で止まってしまう	床面に扉下面が擦っていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が 10mm になるようにしてください。
ソフトクロー징しない	扉が戸当りに当たる手前で止まっていますか。 トリガーが付いていますか。	一旦扉を完全に閉じて頂くトリセットされ機能が復帰します。 トリガーを指定の位置に取り付けてください。
	扉を勢いよく閉じていませんか。	扉を勢いよく閉じた場合、機能が十分に発揮されず、故障の原因になりますので、おやめください。
扉の開閉時に異音が発生する	扉が隣接する箇所と擦っていませんか。 上レール内にゴミやアルミの切粉が付いていませんか。 上レール部のローラーにゴミやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	扉が隣接するものと擦らないように扉の左右調整をしてください。 ゴミやアルミの切粉を取り除いてください。 一旦レールを外し、ローラーを引き抜いてゴミや切粉を取除いてください。
扉の開閉が重い	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
	扉が隣接する箇所と擦っていませんか。	扉が隣接するものと擦らないように扉の左右調整、または下ガイド、ストッパーの位置調整をしてください。
	扉に反りが発生していませんか。	反りのない扉をご使用ください。
勝手に扉が開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して水平になるように、上レールを付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2023.06 1588-1j